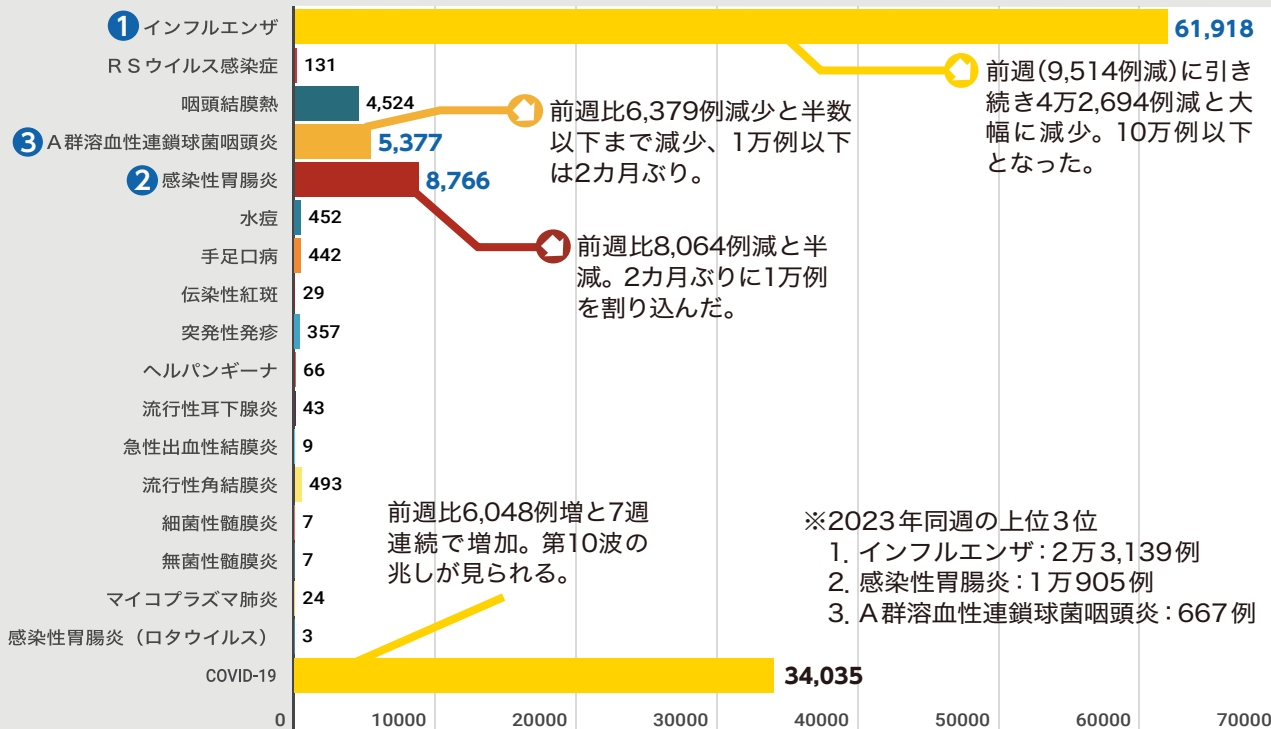


国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

インフル大幅減も、コロナ第10波の兆しか

丸数字は上位3位



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

① インフルエンザ

報告数

1. 大阪府: 3,572例
2. 埼玉県: 3,523例
3. 福岡県: 3,423例

定点当たりの報告数(12.66)

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 1. 宮崎県: 26.05 | 4. 大分県: 19.21 | 7. 福岡県: 17.29 | 9. 福島県: 16.46 |
| 2. 茨城県: 22.34 | 5. 沖縄県: 18.85 | 8. 愛知県: 16.94 | 10. 高知県: 16.39 |
| 3. 岐阜県: 20.82 | 6. 秋田県: 17.37 | 8. 長崎県: 16.94 | 11. 熊本県: 15.94 |

② 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 911例
2. 神奈川県: 698例
3. 埼玉県: 526例

定点当たりの報告数(2.82)

- | | | | |
|--------------|---------------|--------------|---------------|
| 1. 大分県: 5.89 | 4. 鹿児島県: 5.00 | 7. 福岡県: 3.97 | 10. 千葉県: 3.66 |
| 2. 宮崎県: 5.69 | 5. 愛媛県: 4.94 | 8. 熊本県: 3.94 | 11. 東京都: 3.59 |
| 3. 香川県: 5.50 | 6. 石川県: 4.00 | 9. 徳島県: 3.74 | 12. 富山県: 3.41 |

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 北海道: 433例
2. 東京都: 379例
3. 埼玉県: 366例

定点当たりの報告数(1.73)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 北海道: 3.23 | 4. 沖縄県: 2.68 | 7. 福井県: 2.48 | 10. 埼玉県: 2.30 |
| 2. 茨城県: 3.00 | 5. 山形県: 2.61 | 8. 福岡県: 2.43 | 11. 福島県: 2.20 |
| 3. 山口県: 2.98 | 6. 宮崎県: 2.53 | 9. 千葉県: 2.38 | 12. 愛媛県: 2.19 |

今週の感染症動向

インフルエンザは4万2,694例減と4週連続で大幅に減少した。定点当たりの報告数は12.66で、警報基準(30.00)超の地域はなくなったが、注意報基準(10.00)を上回る地域は40都道府県とまだ流行状態にある。

感染性胃腸炎、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎はいずれも前週から半減。昨年第44週(10月30日～11月5日)以来の1万例以下となった。

咽頭結膜熱は前週比3.648例減と半減も、北海道で3.81、鹿児島県で3.80と警報基準値(3.00)を超えている。

COVID-19は7週連続で増加し、昨年第39週(9月25日～10月1日)以来、3カ月ぶりに3万例を突破。流行第10波の立ち上がりが懸念される。COVID-19以外の感染症は全般的に減少傾向にあるものの、年始による医療機関の稼働日減少に伴い報告数が減少したと予測される。年末年始における人流増加の影響が現れる来週以降の動向に注目したい。